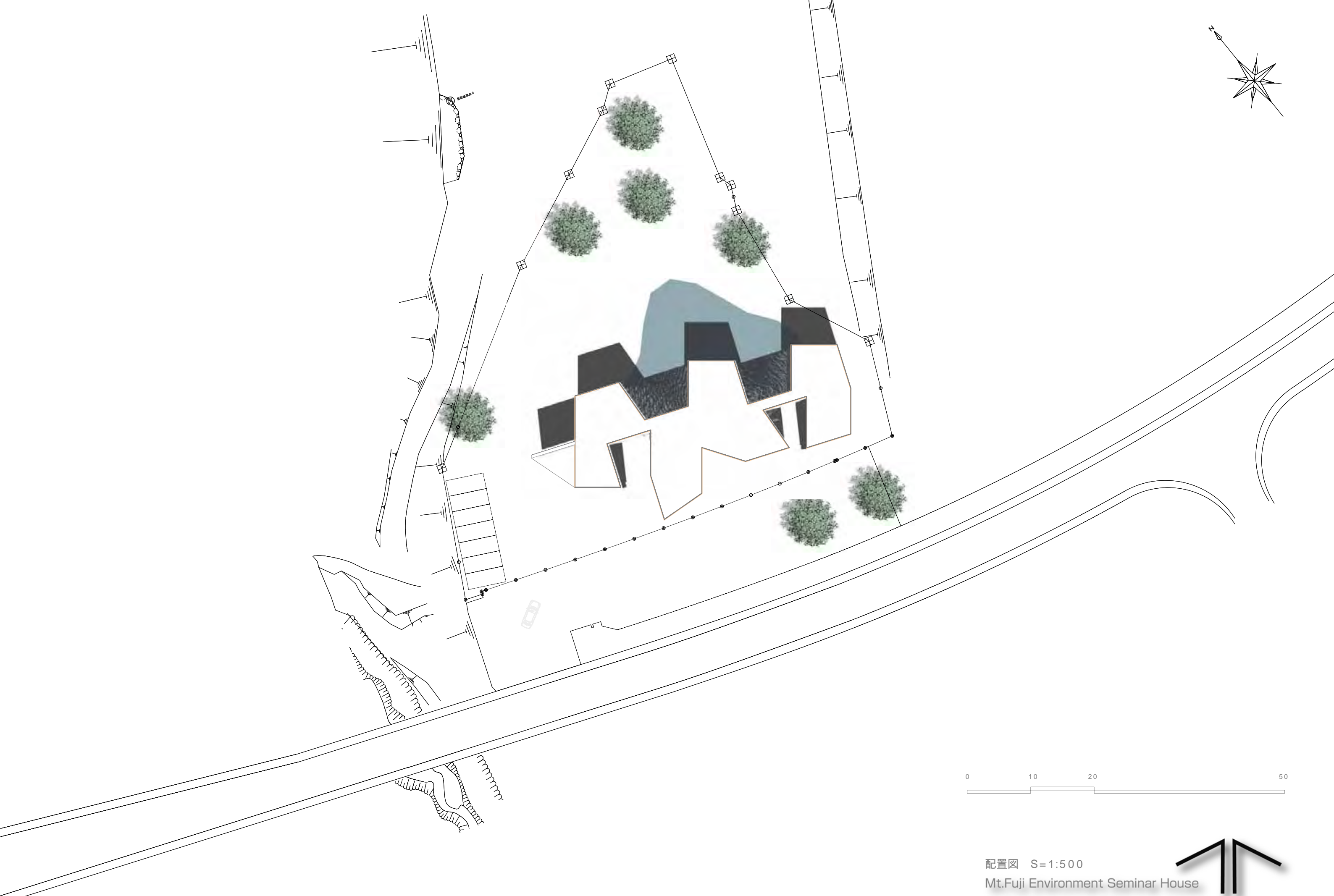
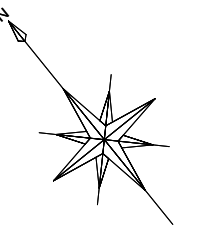




中野 弥

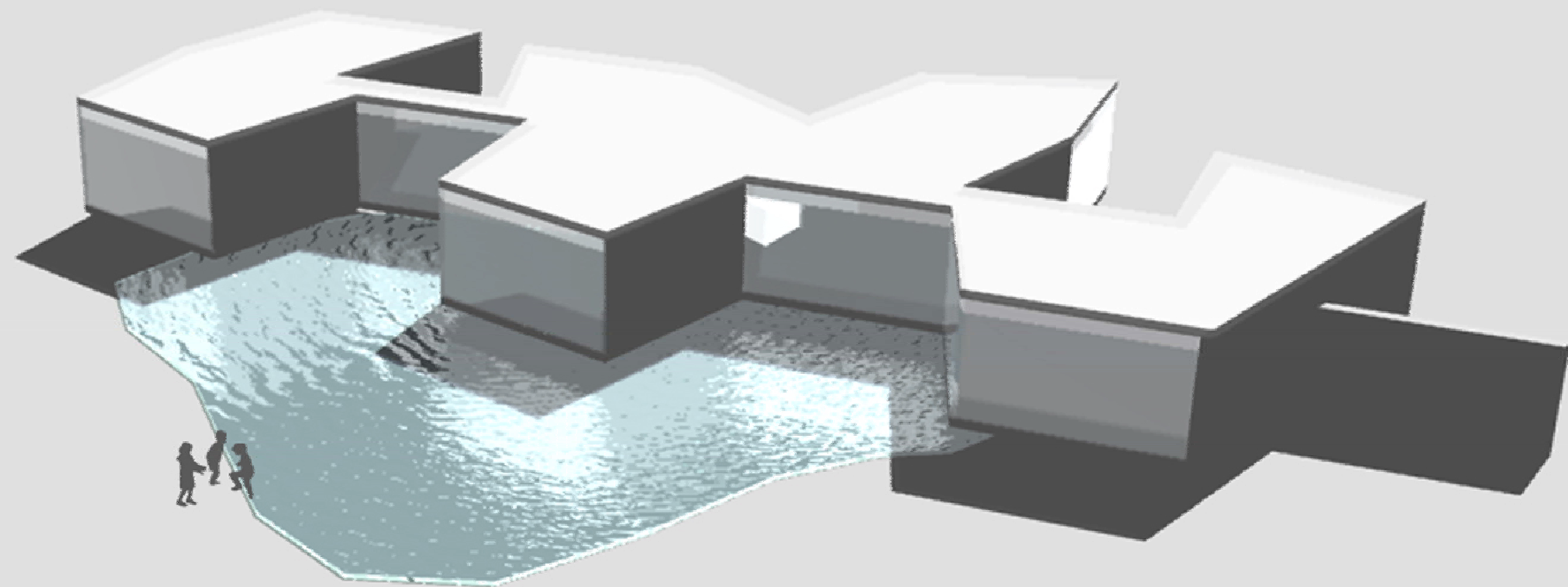
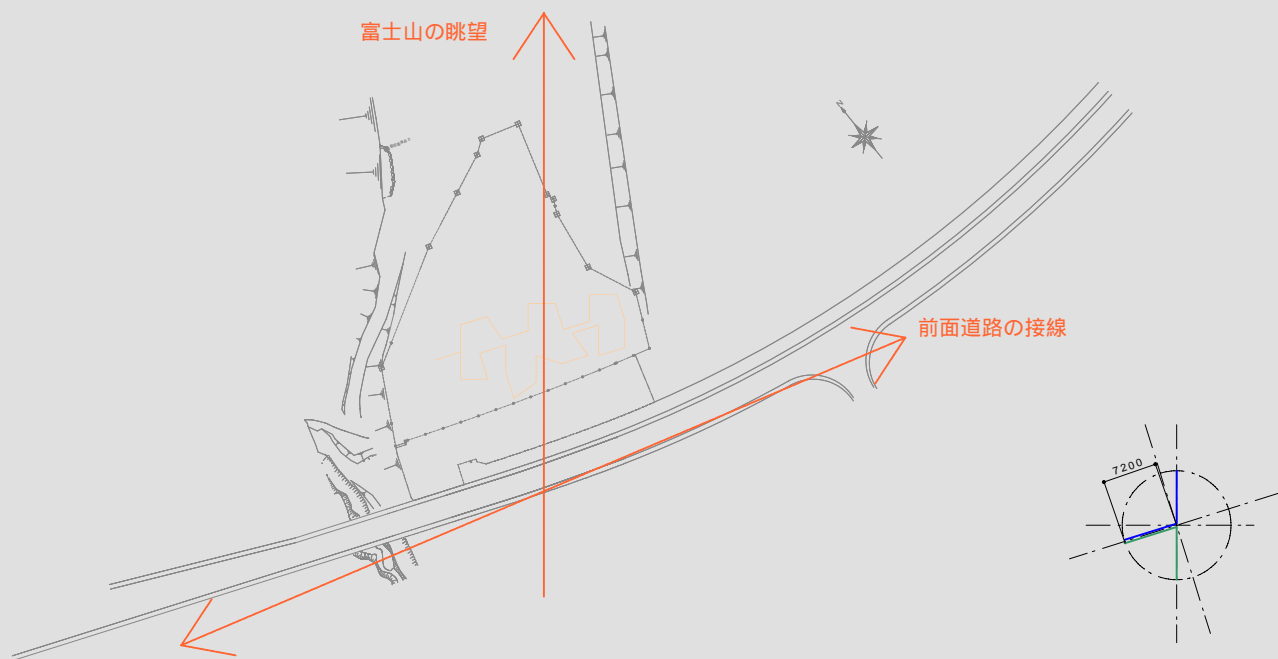
Mt.Fuji Environment Seminar House





配置図 S=1:500
Mt.Fuji Environment Seminar House



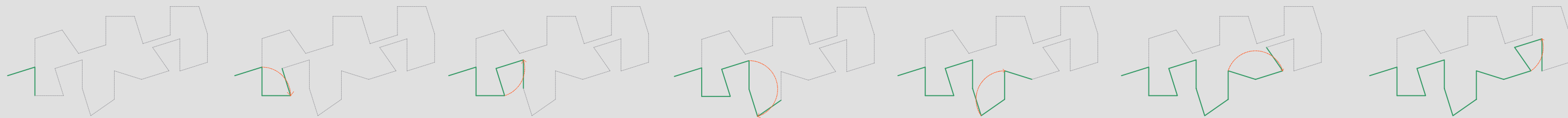


豊かな自然と富士山麓に位置する今回の計画の敷地では、「緑と人と生産を融合する」工業団地の入口に位置し、自然と一体化した開かれた施設とすることを目指した。

富士山への眺望が大きな特徴であることから、これを阻害しないよう富士山への眺望の方向と前面道路の接線を軸線とし、それらを重ね合わせた。

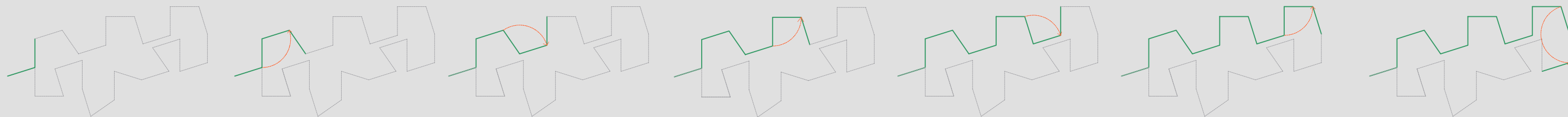
今回の予見で単位空間となっている50㎡を正方形で形成する7.2mの単位線を各軸線上に引いた。

この単位線の形成する角を前面道路や富士山に対して開くように、軸線の端点を中心軸線に沿うように回転した。



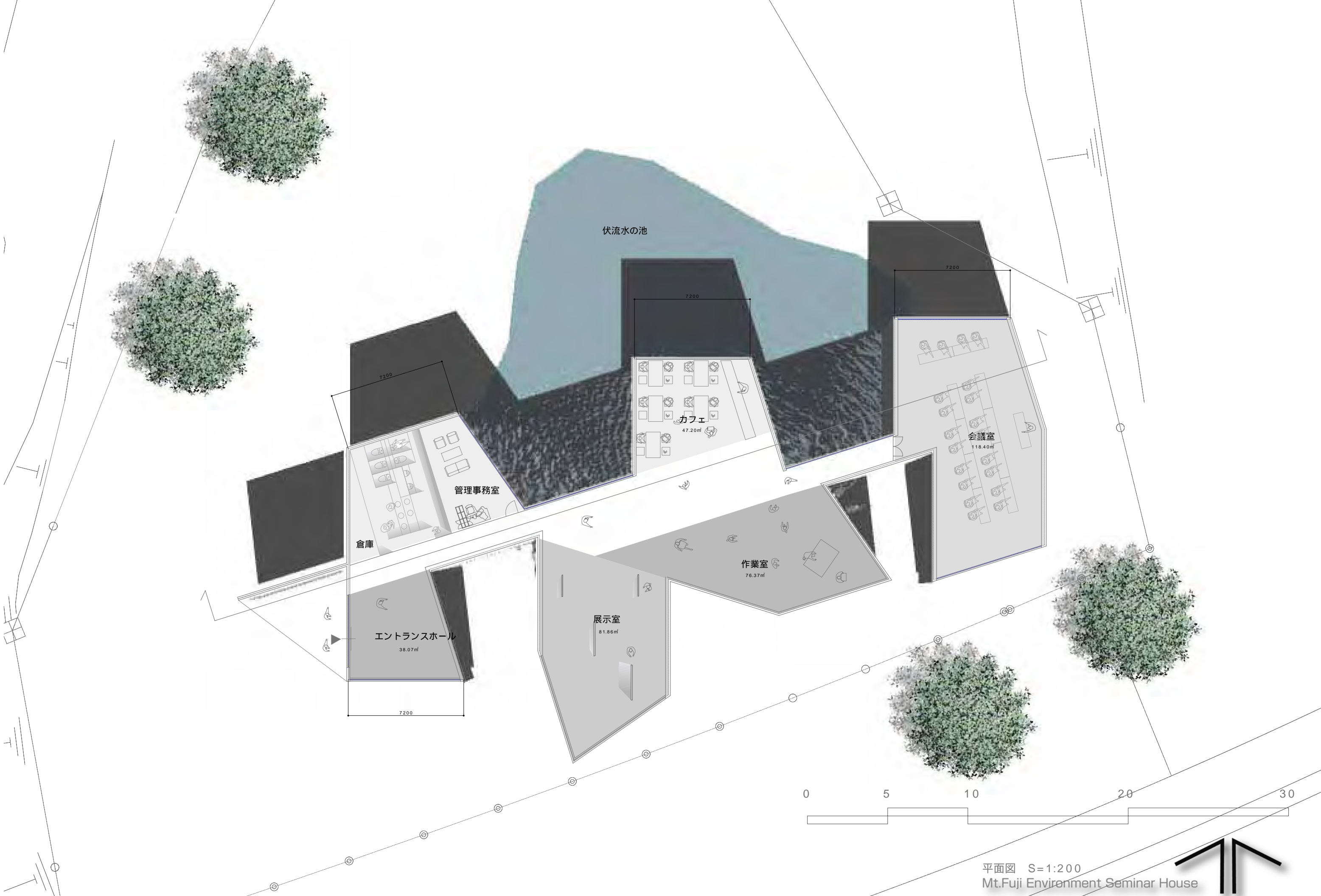
これを繰り返すことで、ある閉じた図形が得られ、これを平面計画とした。

この単位線が形成する線を壁面とガラス面に分け、視線が連続するように配置した。



このような操作により得られた平面計画は、建物周囲と建物内部を連続させることができ、また建物を通して外部と再度連続することでより透明性の高い、自然と融合した施設になると考えた。





伏流水の池

倉庫

管理事務室

カフェ

47.20㎡

会議室

118.40㎡

作業室

76.37㎡

展示室

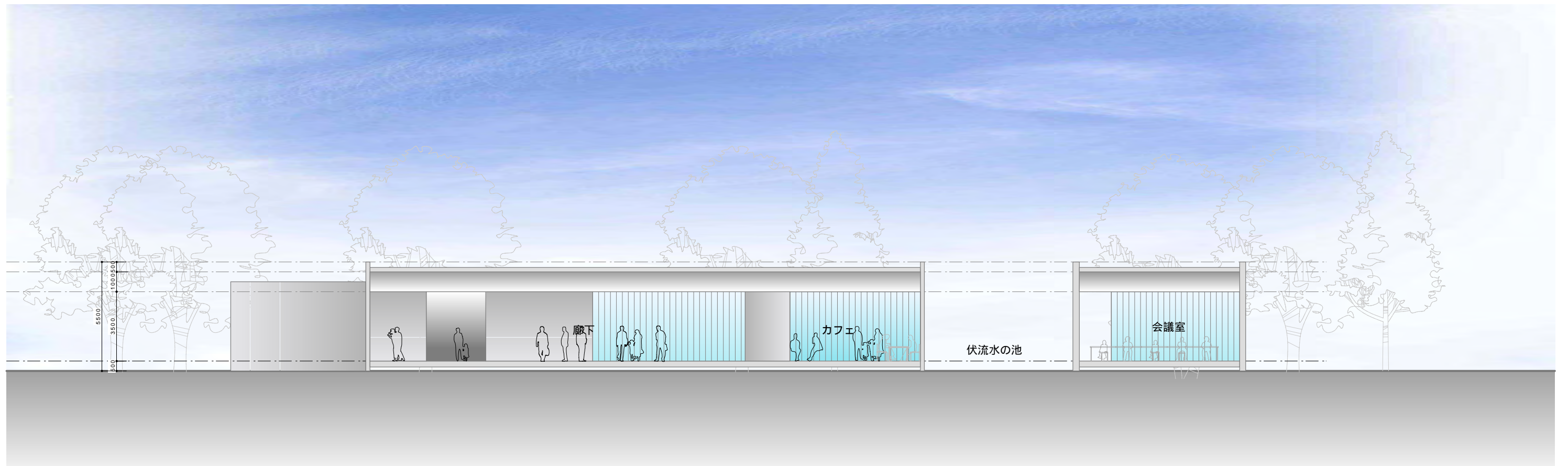
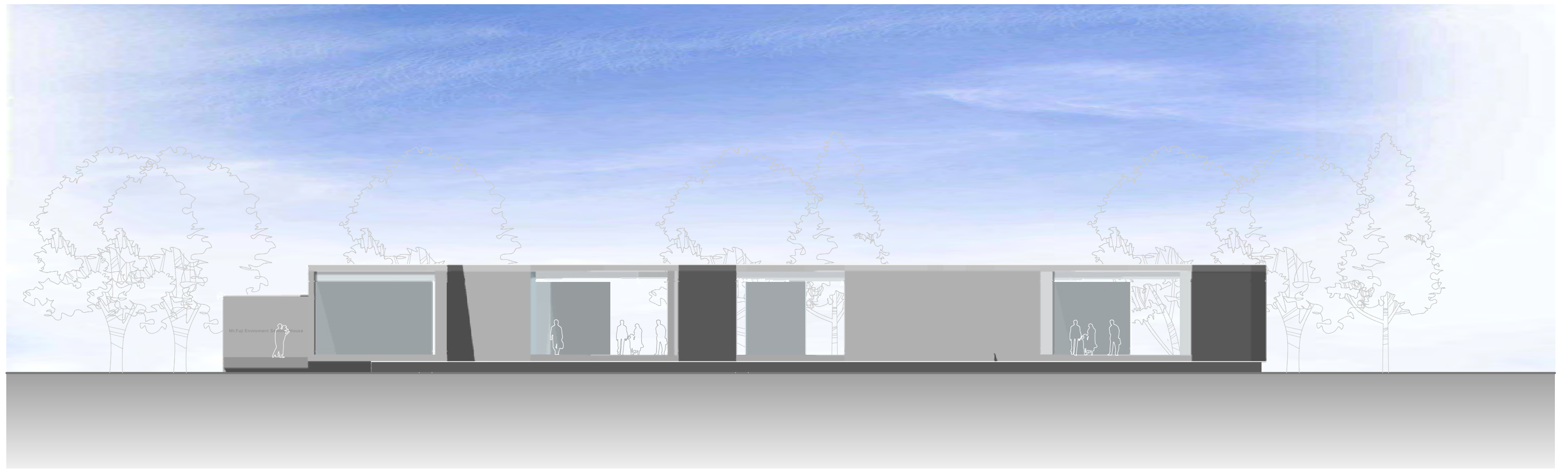
81.86㎡

エントランスホール

38.07㎡

平面図 S=1:200
Mt.Fuji Environment Seminar House





南側立面図/断面図 S=1:200
Mt.Fuji Environment Seminar House



